

2016年3月期 決算補足資料

I. 連結業績のアウトライン

- ◆ 2016年3月期はグループ中期事業計画(「VI.グループ中期事業計画と進捗について」をご参照)の初年度として、主にBOOKOFF店舗の変革に注力。「新たな販売チャネル:ヤフオク!出品」「新たな取扱商材:中古家電」を直営全店に展開するために、「店舗の人員増強」「業務システムの開発と導入」「中古家電の認知向上に向けた宣伝広告の積極投下」を実施。
- ◆ BOOKOFF店舗の変革は予定通り進んだが、変革にかかるコストが想定以上に発生したこと、またハグオール事業の立ち上がりにおいて仕入が伸びている一方で販売面、コスト面での課題により赤字が想定以上に発生したことから連結業績は当初見通しを大幅に下回り、営業赤字となった。
- ◆ 2017年3月期は変革アクションの効果発現とハグオールの収益改善を見込み連結営業利益8億円となる見通し。

II. 連結損益

単位:百万円

科目	2016/3期	構成比	2015/3期	構成比	前期差	前期比
売上高	76,564	-	74,347	-	+2,216	103.0%
リユース店舗事業	68,539	89.5%	63,231	85.0%	+5,308	108.4%
ブックオフオンライン事業	5,592	7.3%	4,859	6.5%	+733	115.1%
ハグオール事業	970	1.3%	457	0.6%	+513	212.2%
パッケージメディア事業	1,227	1.6%	5,587	7.5%	△ 4,359	22.0%
その他	232	0.3%	211	0.3%	+21	110.1%
売上総利益	45,803	59.8%	43,760	58.9%	+2,043	104.7%
販売管理費	46,334	60.5%	42,632	57.3%	+3,701	108.7%
営業利益(損失)	△ 530	-	1,127	1.5%	△ 1,658	-
リユース店舗事業	1,679	-	3,594	-	△ 1,914	-
ブックオフオンライン事業	281	-	△ 170	-	+451	-
ハグオール事業	△ 481	-	△ 442	-	△ 38	-
パッケージメディア事業	△ 24	-	△ 125	-	+100	-
その他	△ 39	-	△ 66	-	+27	-
調整額(全社)	△ 1,946	-	△ 1,661	-	△ 285	-
営業外収益	826	1.1%	858	1.2%	△ 32	96.2%
営業外費用	289	0.4%	308	0.4%	△ 18	94.0%
経常利益	5	0.0%	1,677	2.3%	△ 1,672	0.3%
特別利益	79	0.1%	237	0.3%	△ 157	33.5%
特別損失	219	0.3%	709	1.0%	△ 490	30.9%
税金等調整前当期純利益(損失)	△ 133	-	1,205	1.6%	△ 1,338	-
法人税等	394	0.5%	1,053	1.4%	△ 658	37.5%
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)(※)	△ 528	-	151	0.2%	△ 680	-

【売上高】

□グループ全体

- ・ 前期に実施した「TSUTAYA」事業の譲渡の影響によりパッケージメディア事業が減収となるも、リユース店舗事業、ブックオフオンライン事業、ハグオール事業が増収となったことで、グループ全体では増収となった。

□リユース店舗事業

- ・ 新規出店による増収に加え、既存店売上高が前年を上回ったことにより増収となった。商材別では秋以降の気温の高止まりでアパレルが伸び悩んだものの、書籍が底堅く推移したこと、ヤフオク!出品によりソフトメディアが伸びたこと、また携帯電話や家電などの新規取扱商材が上乘せされたことが増収に寄与した。

【営業損失】

- ・ BOOKOFF店舗の変革に向けた店舗パートアルバイトスタッフの人員増や店内のレイアウト変更などの先行投資、第4四半期に実施した中古家電の買取プロモーションコストにより販売管理費が大幅に増加。売上の増加(及び売上総利益の増加)が販売管理費の増加を吸収するには至らなかったことから、営業損失の計上となった。

【親会社株主に帰属する当期純損失】

- ・ 経常利益の大幅減少に加え、既存店の減損損失等特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失を計上となった。

III. 既存店実績(リユース店舗事業)

●四半期別前期比(直営店・国内)

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	4Q	通期
「リユース店舗事業」店舗							
売上高	104.5%	103.4%	103.9%	104.4%	104.1%	104.5%	104.2%
売上客数	98.9%	97.8%	98.4%	99.6%	98.8%	98.2%	98.7%
仕入高	104.8%	102.9%	103.9%	103.4%	103.7%	101.0%	103.1%

●商材別売上高実績(直営店・国内)

「リユース店舗事業」店舗	4Q期間		累計	
	前期比	構成比	前期比	構成比
書籍(コミック)	99.3%	14.4%	100.4%	14.4%
書籍(活字)	106.9%	17.9%	106.4%	17.4%
書籍(その他)	75.0%	4.4%	85.6%	5.0%
音楽	102.2%	8.3%	101.0%	8.4%
映像	109.0%	10.4%	108.0%	10.4%
ゲーム	102.7%	13.2%	102.1%	13.1%
トレーディングカード・ホビー	123.1%	4.3%	122.3%	4.0%
家電・携帯電話	177.5%	5.4%	153.9%	3.5%
アパレル	100.0%	11.8%	100.5%	13.6%
スポーツ用品	106.8%	2.6%	116.8%	2.5%
貴金属・時計・ブランド*	97.4%	4.8%	102.3%	5.1%
雑貨・ヘビー	98.9%	1.8%	102.2%	2.0%
その他	125.8%	0.7%	126.6%	0.6%

●商材別買収高実績(直営店・国内)

「リユース店舗事業」店舗	4Q期間		累計	
	前期比	構成比	前期比	構成比
書籍	92.1%	25.9%	96.5%	26.5%
ソフトメディア	92.9%	36.7%	97.8%	37.4%
アパレル	102.8%	11.0%	104.4%	11.5%
貴金属・時計・ブランド*	88.5%	7.3%	96.3%	8.2%
上記以外	153.4%	19.1%	138.2%	16.4%

IV. 新規出店・リパッケージ(3月31日時点)

区分	店舗名	店舗パッケージ	OPEN	所在地	売場面積
新規出店	14号千葉幕張	BOOKOFF SUPER BAZAAR	4月23日	千葉市花見川区	753坪
	名古屋新中島フランテ	BOOKOFF PLUS	4月23日	名古屋市中央区	535坪
	ドン・キホーテ秋田	BOOKOFF PLUS	6月11日	秋田県秋田市	437坪
	田富昭和通り	BOOKOFF PLUS	3月4日	山梨県中央市	473坪
リパッケージ	横浜伊勢佐木モール	BOOKOFF PLUS	7月9日	横浜市中区	280坪

※ 上記の他、FC加盟店「BOOKOFF」4店舗を「BOOKOFF PLUS」にリパッケージ

V. 通期業績見通し

単位:百万円

科目	2017/3期	構成比	2016/3期	構成比	増減額	増減率
売上高	85,000	-	76,564	-	+8,435	11.0%
営業利益(損失)	800	0.9%	△ 530	-0.7%	+1,330	-
経常利益	1,300	1.5%	5	0.0%	+1,294	-
親会社株主に帰属する当期純利益(損失)	350	0.4%	△ 528	-0.7%	+878	-

VI.グループ中期事業計画と進捗状況について

事業方針

最大の買取

グループの総合力で最大に

最大の販売

店舗・ネットを通じて最大の販売効率を追求

4つのテーマ

「BOOKOFF」の変革

「本のBOOKOFF」から
「何でもリユースのBOOKOFF」へ

総合リユース店舗の拡大

大型化・複合化による圧倒的に強い
リユース店舗の拡大

ブックオフオンライン事業の拡大

中古本品揃え最大化の実現と
取扱い商材の拡張

ハグオールの事業拡大と収益化

事業モデル構築から
規模の拡大と収益獲得へ

目標とする経営指標

将来目標:営業利益100億円
当面の目標は2020年3月期までに営業利益40億円

「BOOKOFF」の変革

- ・中古家電は3月末までに直営店ならびにFC加盟店(一部除く)に導入が完了。
- ・「店舗商品のヤフオク!出品」は店舗とネットの商品併売オペレーションのシステム化が7月に完了。
導入展開のスピードを加速させ、3月末までに直営店ならびに一部FC加盟店に導入が完了。

総合リユース店舗の拡大

「BOOKOFF SUPER BAZAAR(BSB)」1館、「BOOKOFF PLUS(BOP)」3館を出店。また「BOOKOFF」単独店5店舗を「BOP」にリパッケージ(3/31時点・FC含む)。累計では「BSB」は33館、「BOP」は43館となった。

ブックオフオンライン事業の拡大

当期は商品調達としての「BOOKOFF」店舗との連携と、販売としての「ヤフオク!」連携に注力。

ハグオール事業の事業拡大と収益化

当期は収益化に向け引き続き事業モデル構築に注力。東京23区内を中心にした訪問買取サービスに加え、無人型総合買取ロッカー「スマート買取」の開発、また、日本橋三越本店内への「総合買取相談窓口」の出店などを実施。